

18. EMS試験

- 他の電子機器からの影響の受けやすさを調べる試験。イミュニティ試験ともいう。
- 試験対象の装置にノイズを故意に印加し、その時の装置の状態を調べる。

福島県ハイテクプラザ EMC-ロメモ18

EMS試験(資料No.1、2参照)には、多くの種類がありますが、ここでは、IEC61000-4シリーズ(JIS C 61000-4シリーズ)を基に説明します。

EMS試験では、静電気、無線機器の電磁波、誘導雷というように、特定のノイズを想定した信号を装置に印加します。

ノイズを印加する場所は、ポート(資料No.19参照)という概念で定義されています。

※「資料を読まれる方に」もお読みください。